

決算特別委員会環境厚生分科会

H 2 8 . 7 . 2 7 (水)

午後2時6分～

場所：第3委員会室

- 1 開 会
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去の評価結果

別紙 2

【平成27年度審査（平成26年度決算）】

アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの調査で判明したことは。 ・財源を含め、今後の見通しは。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジアム関連整備に伴うアユモドキの保全事業について、その事業の認否を判断するには、その前提として、スタジアムプロジェクトの全体像の把握が不可欠である。アユモドキ保全事業経費が増加する中、スタジアムプロジェクトの全体像を示し、判断材料を提供されたい。 	
ごみ減量・資源化等推進事業経費		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量に向けて、これまでの取り組み結果と今後の見通しは。 ・エコトピア亀岡の今後の見通しは。 ・クリーンかめおか推進会議の今後の方向性は。 ・生ごみ処理機への補助金事業は効果的なものとなっているか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンかめおか推進会議のあり方を工夫すること。 	
敬老事業経費		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体のつながりを築くための取り組みとして、従来の手法で良いか。 ・事業内容を精査するなどの検討を行うべきではないか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のつながりを多面的に広げて、個別事業の精査を図り、今後の事業の見通しをたてられたい。 	

【平成26年度審査（平成25年度決算）】

浄化槽設置整備事業		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設置基数に対する実績は。 ・上乗せ補助による効果は。 ・現状のままで目標が達成できるのか。 ・今後の事業展開や方向性は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度決算においては予算額と決算額とのかい離が大きく、改善が望まれる。 ・今後は第5次亀岡市生活排水処理基本計画に基づき、目的及び効果を市民に周知し、適切な目標設定と予算化を行い事業促進に努められたい。 ・目的である公共用水域の水質汚濁防止、快適な住環境整備を目指した事業手法については、市の関与の仕方を含め検討が必要である。 	
こども医療費助成経費		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校就学から中学校卒業までの通院助成について、実績と目的に沿った事業の方向性は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国や府に要望を行い財源確保に努め、子育て支援策として中学校卒業までの通院無料化（現物給付）を目指した事業の拡充に努められたい。 	
地域生活支援事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託の具体的な内容について 委託先と情報を共有して連携ができているのか。 ・地域に障害者の人がどれだけいて、支援の必要な人に広く十分な施策が行われているのか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先と情報共有を行い、必要な人に必要な支援ができるよう、支援の内容を明らかにして施策の充実を図られたい。 	

【平成25年度審査（平成24年度決算）】

アユモドキが棲み続ける環境保全事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・アユモドキ保全協議会補助金50万円で目的は達成できているのか。 ・委託業務の委託先や具体的な調査結果について、外来魚駆除の減少効果と更なる対策、生態に適した環境とはどんな所で、どういう改善が必要なのか、調査結果がどう活かされているのか。 ・アユモドキが棲み続ける環境保全を本市でどう作り出すのか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・連携を強化し、国・府の関与が拡大されるよう努められたい。 ・「攻めの保全」に努められたい。 	
ごみ減量・資源化等推進事業		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機等補助金の有効性について、活用状況と費用対効果や効果の測定方法は。 ・クリーンかめおか推進会議に対する補助内容と減量化資源化効果は。 ・ペットボトル拠点回収の取組結果、今後の事業展開や方向性は。 ・集団回収報奨の資源化効果は。 ・資源化委託業務の資源化効果は。 ・生ごみ減量化の状況と他の処理方法との比較は。 ・新たなごみ分別拡大、資源化についての検討調査結果は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識の向上を目指す啓発に、より一層努められたい。 ・分別収集の拡大に努められたい。 ・成果の取り方について改善を求める。 ・クリーンかめおか推進会議のあり方を見直し、市民参画の工夫を図られたい。 	
高齢者生活支援経費		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者の安心、自立の在宅生活への効果は。 ・利用が少ない理由や、利用者数が減少している事業について減少した理由は。 ・個々の事業は実態に合っており、サービスは広く公平か。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・制度広報に努められたい。 ・利用ニーズの把握に努められたい。 ・利用増進が図られる事業メニューの見直しを検討されたい。 	
地域包括ケア推進事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアの仕組みにおいて、利用者は広く公平なものであるのか。 ・事業内容や実態について、目的に沿った費用対効果はあるのか。 ・今後の事業展開や方向性はどうか。 	
意見	<p>今後は、得られたデータを活かして積極的に次の展開を検討されたい。</p>	